

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
第2回丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会
- 2 開催日時
令和2年8月31日(月)13時30分から15時41分まで
- 3 開催場所
丹波篠山市民センター 2階 催事場1・2
- 4 会議に出席した者の氏名
 - (1) 委 員 (敬称略・順不同)
会長 太田鈴子、副会長 五十山田潤、長澤みさ子、井上友香、
大對礼子、泉より子、岡部喜久雄、宮本英美子、飯田聡美
 - (2) 執行機関 事務局 人権推進課 麻田英史、団野顕一、奥山直美
- 5 傍聴人の数
なし
- 6 議題及び会議の公開・非公開の別
公開
- 7 非公開の理由
該当なし
- 8 会議資料の名称
 - ・第2回 丹波篠山市丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会 次第
 - ・丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会委員等名簿【資料1】
 - ・令和2年度丹波篠山市男女共同参画プラン意識調査の概要【資料2】
 - ・第3次丹波篠山市男女共同参画プラン策定スケジュール【資料3変更】
 - ・土性委員から市民意識調査アンケートについての意見
 - ・配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律

- ・男女共同参画社会基本法
- ・雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律
- ・女性の職業生活における活躍の推進に法律
- ・SDGsとは

9 審議の概要

(1) 開会あいさつ (13:30)

(会長) 定刻になりましたので、ただいまから第2回丹波篠山市男女共同参画プラン策定委員会を開催します。本当に毎日暑い日が続いています。新型コロナウイルス感染症予防のためのマスクの着用が煩わしいところですが、みなさまにはお忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。男女共同参画プラン策定のため、みなさまご協議をよろしくお願いいたします。

(2) 協議事項

(事務局)

資料の確認および第1回会議録の加筆修正、男女共同参画意識調査票P.1の問1について説明

(会長)

男女共同参画意識調査票P.1の問1について、第2次プランや国、県の意識調査結果と比較できて良いという説明でした。このまま変更なしでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(事務局)

P.1の問2について、第1回委員会の時にEの「子どもの世話」を「子育て」に表現を変えた方が良いというご意見をふまえて、そのように反映しております。県や丹波市の意識調査も同様の表現になっており、比較もしやすいと考えております。

(会長)

みなさん、ご意見はありますか。

ご意見無しということで、この表現でいきたいと思っております。

(事務局)

P. 2の問3について、前回のご意見を受けて「育児」を「子育て」に修正しております。幅広く意見を聞く、選択の幅を広げています。県の意識調査も同様の設問があります。

(会長)

みなさん、何かご意見はありますか。

ご意見無しということで、この表現でいきたいと思います。

(事務局)

P. 2の問4については、修正はありません。内閣府および県でも同様の設問になっております。

P. 2の問5-1について、前回、マイナスイメージの表現はいかがかというご意見がございました。この設問では、幅広く、プラスの意識もマイナスの意識も聞きたいということでご理解いただきたいと思います。10年前の第2次プランで質問している内容と同様のため、意識の変化も調査することができると考えております。

P. 3の問6も、10年前と同じ質問になっております。

(会長)

みなさん、何かご意見はありますか。

ご意見無しということで、このままでいきたいと思います。

(委員)

異議なし

(事務局)

P. 4の問7について、仕事と家庭の両立について、あなたの希望と現実の比較、違いがここで聞けると思っています。内閣府、丹波市、加東市なども同様の質問になっております。

(委員)

3の「地域・個人の生活を優先したい」という表現ですが、地域と個人の生活を一緒にするのはいかがでしょうか。子育てで朝から晩まで子どもにかかりきりで、少しでも自分の時間を欲しい方がいらっしゃると聞いたりします。そういう方が、みなさん地域での活動も優先したいと思っているのかと。「地域と個人」を並列させていることに違和感があります。

(委員)

おっしゃることは分かるのですが、ワークライフバランスのことを聞いていると思うので、あっても良いと、おかしくはないと思います。

(会長)

地域とは、どういう意味合いでしょうか。

(事務局)

大きな理由としては、他のところがこのような言葉を使っているので比較がしやすいということ。ただ、「地域」という言葉に引っかかって選びにくいということでしたら、省く、もしくは別にするという事も考えられます。別にすると、選択肢が増えてきます。選択肢としては8つが一番適当だと思っておりますので、その辺ご意見をいただければと思います。

(委員)

最近、特に個人の生活を重んじる傾向があると感じます。昔は「地域」の行事は優先されていたと思いますが、最近は「個人」が優先となって、婦人会、老人会、愛育班も崩れてきています。社会的な地域活動がだんだん少なくなってきています。「地域」と「個人」は今の人たちには全く違うということになっているのではないかと思います。

(事務局)

ここで聞いているのは、仕事と家庭の両立を聞いています。仕事と対面にあるのが地域活動・個人活動・家庭生活を聞いています。地域と個人を分けると、ワークライフバランスという観点からずれてしまうというか、分析しにくくなります。委員がおっしゃったとおり色々問題はありますが、調査としては一緒にしたいと考えています。これまで他の自治体もそういうことで調査されていたと考えます。

(委員)

仕事・家庭・地域という分け方であれば理解しやすい、強いて言えば家庭生活と個人の生活をひとくくりにする事が考えられますね。

(事務局)

私も説明しながら思いましたが、副会長がおっしゃったくくりが自然だと思います。

(委員)

地域活動を省くのではなく、別にするというのでしょうか。

(会長)

そういうことになると思います。

(委員)

自分の時間を持つ、地域活動にもかかわっていくということですね。ここにワークライフバランスとは書いてありませんが、こういうことを啓発していかなければならないので、このままで良いのではないのでしょうか。

(委員)

家庭生活と個人の生活との意味の違いはどうでしょうか。個人の生活で（地域活動）という質問の仕方、個人の生活を前にすると分かりやすいと思います。

(事務局)

飯田委員のご意見を参考に、個人の生活（地域活動含む）という表現にすれば個人の生活が前にできますので、そのような表現でどうでしょうか。

(委員)

個人の生活を優先したいと思う人がそれに丸をつけると、地域活動を優先したい人も含まれてしまいますが、それで良いということですね。

(事務局)

それで構わないと思います。

(会長)

個人の生活（地域活動を含む）という表現でいかがでしょうか。

(委員)

家庭生活とはどういうことでしょうか。

(事務局)

一人暮らしを想定されると難しいのですが、仕事と家庭の両立をたずねる設問ですので、親や子、家族がいる生活を想定しております。

(会長)

私も家族と捉えました。地域が関係してくるのは、地域のイベントに家族で参加したり、個人としては役員になったりなど、うまくバランスをとってやっていくということではないでしょうか。

(委員)

ワークライフバランスを聞くのに、仕事と家庭のバランスだけであれば、家庭を優先しますかそれとも仕事を優先しますか、両方ですかと、シンプルですよね。仕事、家庭さらに個人を並列するべきなのではないでしょうか。

(委員)

個人の生活というより、個人の時間ですよね。

(会長)

地域の意味合いが広いので、個人と結びつけるのが難しいのでしょうか。どこを焦点にすれば良いのか、個人の生活についてはどう思われますか。

(委員)

本質的には家庭生活の中に一人ずつ「個」があり、それぞれ個人があって役割分担がある。ただ、介護や子育てなど、「個」の生活が尊重されることが女性にとってはなかなかないですよね。家庭での役割がそれぞれありますが、人間の「個」として尊重されるべきだと考えます。

(会長)

パッと見て、市民の方々に理解される書き方はどうでしょうか。

(委員)

無作為に抽出された市民に調査するので、年代によってとらえ方が違いますよね。

(事務局)

意識調査の最後に年代を聞いていますので、年代ごとに集計、傾向を出して分析をします。

(委員)

仕事を優先、家庭生活を優先、地域の活動をしながら個人の生活を優先と、3つの項目をしっかりと確立して分けてあると思います。とらえかたとして、「個人の時間」と

してしまうと、全く違うものになるのではないかと思います。広い意味でこのままで良いのではないのでしょうか。全てを大事と思う方は7番の「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したいを選ばれるでしょうし、若い世代であれば、4番の「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいを選ばれるでしょうし、ひとつひとつ確立しているので、この表現をされていると感じます。

(会長)

全体的なことを考えて、元に戻ってこのままの表現でいかがでしょうか。このままでい겠습니까。

(委員)

異議なし

(事務局)

問8ですが、濱口委員と相談し、3の表現を変えています。法律の中では「育児休業」「介護休業」という表現になっております。「休暇」の方が分かりやすければ、戻しても良いのでご意見をいただきたいと思います。6、8を加えたため、設問が12に増えております。

(会長)

みなさん、ご意見はありますか。

(委員)

8番の中で、5の保育園等の充実とともに、介護サービスの充実も項目として必要ではないのでしょうか。市の施策に結びつくことを考えると、こういうことを入れておくことも大事だと思います。

(会長)

新しく項目を追加するということでしょうか。事務局、追加は可能ですか。

(事務局)

少し項目は増えますが、可能です。

(会長)

保育については子どもが少なくなっていますが、介護に関しては、これからどんどん増えていきます。60代、70代が現役で頑張らないといけないこともあるので、

項目として追加していただければ、要介護にならないように働かないといけないというところで、1つ項目を増やしていただくのはいかがでしょうか。

(事務局)

5の下の6に、介護支援サービスについて、言葉を選んで追加したいと思います。

(会長)

他にありますか。なければ次に進みます。

(事務局)

P.5の問9で、セクシャルハラスメントだけでなく、パワハラ、マタハラを追加し、用語の説明を入れております。それぞれ被害者側からの表現に変えています。

(委員)

パワハラの、Fの「挨拶や話しかけても無視される」を「挨拶や報告、連絡をしても無視される」としてはいかがでしょうか。

(委員)

今のご意見に付け足して、「挨拶や話しかけても無視されたり、精神的・身体的に苦痛をあたえられる」など、表現を強くした方が良いのではないのでしょうか。

(会長)

事務局としてはどうでしょうか。

(事務局)

この表現だけで想像されにくいとは思っていましたが。書きすぎてもイメージが狭まるので、委員のおっしゃった連絡、報告というのは端的な言葉だと思います。

(会長)

そのような表現でよろしくをお願いします。

(事務局)

P.6のDV（ドメスティックバイオレンス）については、第2次プランでも聞いています。前回ご意見がありませんでしたので、特に内容は変えていません。

(会長)

これに関してはどうでしょうか。このままでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(事務局)

P. 8の間11は10年前と同じ設問です。

(委員)

例えば、4と5,6も相談窓口、シェルターや体制を「整える」とありますが、困っている人がどうしたら良いのか分かりにくいと思うので、表現を変えてはどうでしょうか。また、11番の「被害者が毅然とした態度をとる」という表現も考えてみたらどうでしょうか。

(事務局)

配偶者暴力相談支援センターについては、県内自治体の約1/3ほどに設置されており、相談窓口や避難場所があります。ただ、情報がいきわたっていないということであれば、「整える」という表現を、相談窓口の情報提供をすとか、周知をするなどに変えたりすることも考えます。11番については、そういう考え方をする人がどれ位いるのかを分析するためにも、選択肢としてあっても良いと考えます。

(委員)

被害者の方が、自分が悪い、自分さえ我慢すれば良いという考え方がまだまだあるので、啓発のためにも表現を変えてはどうでしょうか。

(事務局)

表現を少し変えて柔らかくして、設問自体はあっても良いと思います。

(委員)

11番は被害者に責任があるような表現になっています。本来、被害者をどう守るのかということがベースにあると思うので、この項目を入れるのはふさわしくないのかなど。気づいた人が即行動をおこすことが大事だと思います。迷わずに関係機関に知らせるといったような表現を選択肢に入れることがアンケートの設問に合っていると思いました。

(会長)

11を削る方が良いのか、私としてはあっても良いと思いますが、事務局いかがですか。

(事務局)

11の表現が分かりやすいゆえに厳しいというご意見はありますが、回答者からすると分かりやすい表現だと思います。これと並列するような選択肢があってもというご意見がありましたので、考えます。

(会長)

11をこのまま残すことでよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(事務局)

選択肢として、気づいた周囲が被害者の方に寄り添ったり、あるいは関係機関に知らせるといったようなことを検討します。P.9の性の多様性については変更していません。

(会長)

これでよろしいでしょうか。ご意見はありますか。

(委員)

この問題は大切な事で、アンケートに説明とともに入れておいた方が良いと思います。

(事務局)

問13について、土性委員からご意見をいただいております。「家族や」を追加しております。三木市も同様の質問がありました。

(会長)

土性委員のご意見ですが、いかがでしょうか。家族からというのもなるほどだと思います。こういう風にした方が良く、適当だと思います。

(委員)

異議なし

(事務局)

P. 10の追加質問について土性委員にお聞きしたところ、丹波篠山市の男女共同参画の認知度を調べたいということでした。追加でも構わないか議論していただければと思います。

(会長)

このままでよろしいでしょうか。追加してもらえるとということで、何かありますか。

(事務局)

14か15になるかは考えます。全般のところ追加したいと思います。

問16のGはAからFを総合的に判断するという選択肢ですが、問1のGと合わせることにしました。

(会長)

合わせた方が、回答者も考えやすいですね。

(委員)

お願いがあるのですが、問14、15を通して、どこかに男女共同参画の説明を掲載して欲しいと思います。知らない方に、男女共同参画社会とはこういうことですよという説明をした方が良いと思います。

(事務局)

意識調査の最後に掲載するか、別にするかは考えたいと思います。市民の生の意見を聞きたいので、説明を読んだ後より、最後に掲載する方が良いかもしれません。

(委員)

最初に掲載する方が、きちんと回答しやすいのではないのでしょうか。

(事務局)

最初に掲載すると正解を導き出すことになり、正解に引っ張られてしまう恐れがあります。意識調査としては適当ではないと思います。問14-1は、学んだことがあってもなくても、また、説明がなくても答えられる設問になっており、最後にこちらの思いを示したいと思います。

(委員)

男女共同参画の意識が10年前に比べて進んでいるのかを調べるものですよね。男女共同参画の意識がどれだけ浸透したかと。

(事務局)

問14と15の間に、メモとして「男女共同参画とは…」を書いた方が答えやすいというご意見でしょうか。ただ、ここに書いてしまうと、市民の生の意見を聞けなくなってしまう。

(委員)

DVやハラスメントの設問のところにそれぞれ説明があるように、説明を入れて分かった上で回答してもらった方が良いと思います。男女共同参画について知らない人は、問14-1で「ない」と答えた人で把握できると思います。

(会長)

このページか最後に入れた方が良いのか、みなさんどう思われますか。参考として問14-2の後に入れるのが良いと思われる方は挙手をお願いします。

(委員3人挙手)

(委員)

最初にある程度、主旨目的を分かるようにした方が良いと思います。

(事務局)

最初のページに市長のあいさつと注意事項を入れており、読んでいただけるのはこれがめいっぱいだと思います。これ以上説明を入れると読むことばかりになり、どうすればスムーズに設問に答えていただけるか、これで最初の1ページは限界かと。最後に男女共同参画とは、ということを知っていただいて終了するのが良いと思います。

(委員)

別紙参照というように、最後に説明を入れておけば良いと思います。

(会長)

最後まで読んでいただいた方には分かっていただけということですね。

(事務局)

提案ですが、バラで男女共同参画についての説明書を添付すれば、意識調査を提出

していただいた後も、回答者の手元に残ります。いかがでしょうか。

(委員)

分かってもらう手立てさえあれば良いと思います。

(委員)

第2次男女共同参画プランの概要版の説明が分かりやすいと思います。

(事務局)

委員のおっしゃるとおり、別紙で第2次プランの概要版の説明を入れたいと思います。P. 12は回答者の属性を聞いております。

(委員)

性別ですが、3その他（ ）より、「回答しない」の方が、意思表示としては良いのではないのでしょうか。

(会長)

みなさんどう思われますか。、3その他（ ）このままが良いか、「回答しない」が良いと思う方、参考にこのままが良いと思われる方はいらっしゃいますか。

(委員1人挙手)

(会長)

その他の委員は、変更した方が良いということで、表現は事務局にお任せします。

(委員)

P. 2問4の1と2の表現が分かりにくいと思いますので、もう少し分かりやすくしていただきたいです。

(事務局)

文言を考えます。

(3) その他

(事務局)

資料3に基づき変更スケジュールを説明

(会長)

最後、副会長にごあいさつをお願いします。

(11) 閉会 (15:41)

(副会長)

本日はお忙しい中、また、長時間協議いただきありがとうございました。いよいよ意識調査が実施されます。第3回委員会は意識調査の結果と分析報告、第2次プランの総括が予定されております。多様な意見をいただき、実効性のある、また、方向性が見える化された男女共同参画プラン作成に向けて、取り組んでいきたいと思っております。次回は来年2月に開催される予定です。その頃には、なんとか新型コロナウイルスが治まっていることを切に願っております。本日は、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。